

また家持、坂上大嬢に和ふる歌二首

七三九番

後瀬山のちせやま 後も逢はむと 思へこそ 死ぬべきものを
を 今日までも生けれ

七四〇番

言のみを 後も逢はむと ねもころに 我を頼め
て 逢はざらむかも